

ほほえみ 第69号



7月末には、神戸で学会があり、踊りの練習もそこそこに、8月2日は慌ただしく、恒例のさんさ踊りに出場しました。ニュースレターを書くタイミングがとれず、発行がずれ込んでしまいました。誠に申し訳ありません。盛岡は猛暑が続いていて、毎日のように寝苦しい感じです。予報では、もう少し猛暑が続くようですが、皆様、夏バテにならないように、涼しくしてお過ごしください。

日本のがん統計

7月中旬に、国立がん研究センターから、今年の本国のがん罹患数の予測が発表されました。団塊の世代が、がんを起こしやすい年代に入っていることなどもあり、年間のがん罹患者数が、100万人を超えました。がん死亡者数に関しては、37万人となっています。この他の統計で、年齢調整したものもあり、その場合は、がんの罹患は全体としては下がっているのですが、総数は増加しているということで、高齢化の要因は大きいと言えます。

この数値に上がっている、罹患者と死亡者というのは同一人物ではないので、単純には言えませんが、がん罹患数に比較して、がん死亡者数が少ないということは、かなりの方が、がんにも罹患されても亡くならないことを示唆します。治癒された、あるいはがんと闘病しながら生活されているということですね。がん罹患者では、大腸がん、胃がん、肺がんが多いということになりますが、がん罹患では第4位の前立腺がんは、死亡者数ではこの表では欄外で、第8位となっています。前立腺がんは、罹患しても、相対的になくなる方は少ないがんと言えるでしょう。

近年の傾向としては、膵がんの増加が指摘されており、診断が難しく、治療も難渋するケースが多いがんでもありますので、対策が重要であると言えます。

がん対策基本法が制定されて10年が経過しましたが、総数としてはがんの罹患率、死亡者が下がらない現状がありますので、益々、がん対策を推進していく必要があるということです。

がん診療の受け皿となる、医療機関のマンパワー、設備の問題もありますが、質も問題も同時に上げていかなくてはならないという待ったなしの状況です。

がん医療に関わる者としては、がん罹患者数が、100万という大台を超えたことで、ショッキングなニュースでした。

●がん罹患数予測（2016年）

男女計	
部位	罹患数
全がん	1,010,200
大腸	147,200
胃	133,900
肺	133,800
前立腺	92,600
乳房（女性）	90,000
肝臓	45,100
膵臓	40,000

●がん死亡数予測（2016年）

男女計	
部位	死亡数
全がん	374,000
肺	77,300
大腸	51,600
胃	48,500
膵臓	33,700
肝臓	28,100
胆嚢・胆管	19,000
乳房（女性）	14,000

7月は学会シーズンでした

医学系の学会は、通常、秋に学会があるものが多いのですが、個人的には7月に出かける学会が二つあり、慌ただしく参加してきました。

一つは、がん哲学外来市民学会で、今年は石巻市・石巻赤十字病院で開催されました。東日本大震災から、5年が経過しましたが、当時の事を改めて思い返しました。全国からの参加者の方々に、懐かしく(じっくりお話しする時間はありませんでした)、ごあいさつ出来ました。私は、会場の後ろの方に座っていたのですが、後姿から、金沢の西村先生がいらしていると気が付き、先生のお元気な姿を拝見出来て、石巻に行った甲斐があったと思います。

もう一つの学会は、神戸で行われた、日本臨床腫瘍学会で、金曜日の外来を終えた後、夜に、神戸着。希少がんの研究会の立ち上げがあったので、それに参加した後、翌日の学会を見て帰ってきました。神戸に滞在した感じは、特にありませんでしたが、帰り際に、新神戸で、神戸牛のお弁当を買って食べたのが、唯一の神戸らしさであったかもしれません。



のぞみ号の車窓から(暑そう!)



神戸牛のお弁当

はつか大根のタネ

庭の片隅で、はつか大根を育てているのですが、収穫するのは、惜しいのか、放置していたところ、花が咲いて、更に、種ができていました。大根や、アブラナのタネから類推はできますが、さやが大きくて、ピーナッツみたいで意外でした。沢山、タネが取れそうですが、同じものが生えてくるのか疑問ですが、見守っています。



はつか大根のタネ
背景は、本物の大根の葉

MEMO

8月のがん化学療法科の予定

8月3日	診療応援(大堀先生)
8月5日	診療応援(島津先生)
8月11日	山の日
8月12日	診療応援(福田先生)
8月17日	診療応援(大堀先生)
8月19日	診療応援(秋田大学担当) 新渡戸稲造記念メディカル・カフェ
8月26日	診療応援(秋田大学担当)



山の日、どう過ごしましょうか。